

情報活用能力の育成に向けた 教育課程の編成について

2025.6.10

令和7年度第1回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

1 情報活用能力の育成

各教科の学習

学習の基盤となる資質・能力

言語能力

情報活用能力

問題発見・
解決能力

2 情報活用能力の育成に向けた教育課程の編成

教育課程ヒアリング

教育課程訪問

教育課程の編成及び実施状況の確認及び助言・支援

実施状況の把握、学校の状況に応じた支援

- ◆情報活用能力育成年間指導計画の改善及び充実
- ◆各学校の取組の改善に向けた事例の紹介、カリキュラム・マネジメントの視点からの教育課程の改善

情報活用能力の育成に向けた教育課程の編成

3 情報活用能力の育成に向けた年間指導計画の作成

つくってみよう!! 情報活用能力育成 年間計画

情報活用能力を各教科等の学びを支える基盤として確実に育むためには、各教科等の学びのどこに情報活用能力が含まれるのかを見いだし、教科等横断的に取り組むことが大切です。
「活動スキル」「探究スキル」「プログラミング」「情報モラル」の四つの要素を手がかりに、各学校、各学年のカリキュラムを作成していきましょう。

① 特に育てたいスキルを選び、情報活用能力育成の重点目標を決める

校内研究のテーマが「かかわり合い、学びを深める児童の育成」だから「探究スキル」を重点としてはどうか。

研究主任

生徒指導担当

学校目標、校内研究のテーマ、児童の実態等を受けて、四つのスキルの中から**今年度の重点**として児童生徒に身に付けさせたいスキルを絞ります。

タブレットが導入されるから、「活動スキル」を重点にしてもいいかも。

情報教育担当

児童の実態から「情報モラル」に重点を置くことも大事な。



② 各学年で取り組むことができそうな単元を選び、並べてみる

11月と2月に集中しているから調整できないかな。

並べてみると、時期やそれぞれのスキルを意識して指導できそう。

③ 加除修正をして、次年度に生かす

単元表を基に、実施できそうな単元をピックアップして年間計画表に並べ、実施時期のバランスを検討します。
単元表は自分たちでも付け加えながら自校化を図ります。

当初考えていなかった単元で、情報活用能力の育成が図れると感じた単元は加筆します。

4つの要素
活動スキル 探究スキル
プログラミング 情報モラル

3 情報活用能力の育成に向けた年間指導計画の作成

教育課程ヒアリング

➡情報活用能力

年間指導計画

チェックリストに

基づいた助言

情報活用能力 年間指導計画 チェックリスト		
チェック	内容	備考
	情報活用能力育成の重点目標が、教育目標や研究主題等を踏まえ、伸ばしたい情報活用能力を明確にして設定されているか。	学校教育目標との関連性
	「仙台版情報活用能力学習目標リスト」に記載されているA1～D7の学習内容について、小学校1～6年、中学校1～3年の期間で、習得・習熟できるように単元設定がされているか。	系統的な指導の必要性
	教科等横断的に学習が進むよう、様々な教科で単元計画が組まれているか。	身に付けた力の活用の視点
	「プログラミング」について、学習指導要領に例示された項目が設定されているか。 (小学校：小5算数・小6理科・総合的な学習の時間) (中学校：技術・家庭)	学習指導要領との関連
	「プログラミング」について、教科等横断的な視点で単元設定しているか。	仙台市学校教育情報化推進計画の指標
	年間指導計画が自校化されているか。(教育センターが示しているのは例であり、学校独自の形式で作成も可。)	計画の自校化の必要性

3 情報活用能力の育成に向けた年間指導計画の作成

学習の基盤となる資質・能力

➡教科等横断的 な視点から 情報活用能力の育成

仙台市の取組

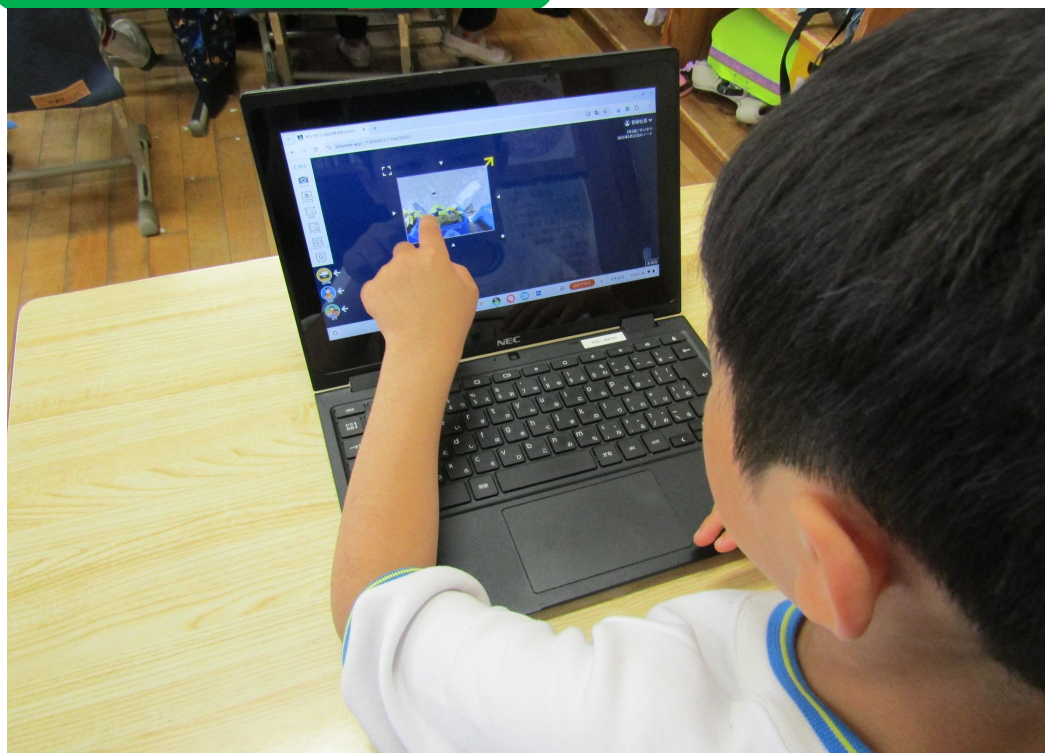
◆情報活用能力育成の 年間指導計画

令和 3 年度											
〇〇〇小学校 情報活用能力育成 年間指導計画											
情報活用能力育成の重点目標											
第 1 学年											
	学習目標	学習内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
活動スキル	情報を集めたり、発信したりする際、手段の特性を意識して活用することができる。	A1: 印刷と編集 A2: カメラの操作 A3: ウェブ検索 A4: 位置利用 A5: インタビュー A6: アンケート A7: メモ A8: 口頭発表									【国語】A8 「すきなきょうかはな あに」
探究スキル	情報の収集・編集（整理・分析や表現）、発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。	B1: 取捨選択 B2: 読み取り B3: 整理 B4: 作成内容の構成 B5: 表現の工夫 B6: 受け手の意識 B7: 学習計画 B8: 評価と改善		【生活】A1・A2・B2 「きれいにさいてね」			【たく39】B2 「シャボン玉が 生まれたよ」		【たく38】B2 「これは何？」		
プログラミング	コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値や自らの将来に関連付けて考えることができる。	C1: 物事の分類 C2: 情報の分類 C3: 情報の関係付け C4: 問題解決の手順 C5: 実行確認 C6: データの整理 C7: 情報技術の将来				【国語】C4 「みんなにはなそ う」				【算数】C1 「たしざん」	
情報モラル	情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。	D1: コミュニケーション D2: 権利と責任 D3: 健康と安全 D4: ルール・マナー D5: セキュリティ D6: 個人情報 D7: 情報社会の将来		【道徳】D1 「あいさつ」			【図工】D2 「うきうき ボックス」			【道徳】D1 「いたづらが き」	

取組

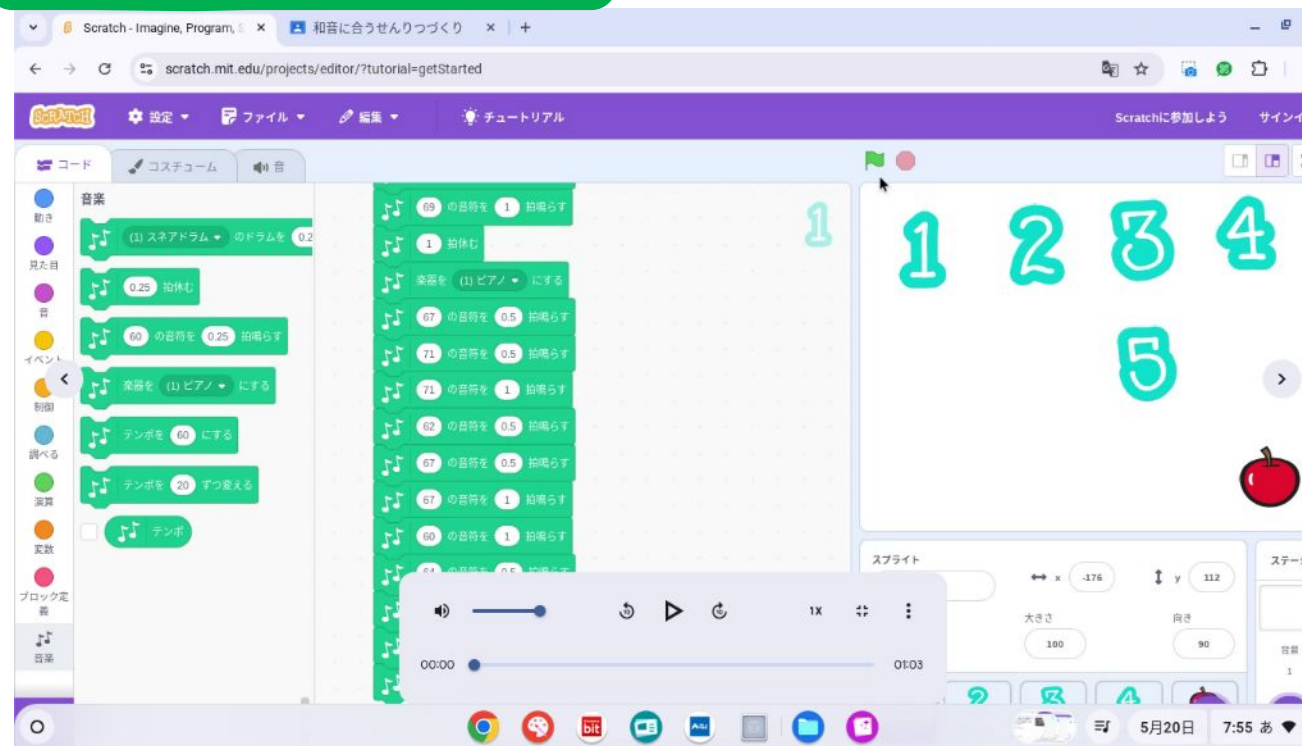
4 情報活用能力の育成に向けた学校での取組例

小学校1年



活動スキル・探究スキルの基礎

小学校全学年

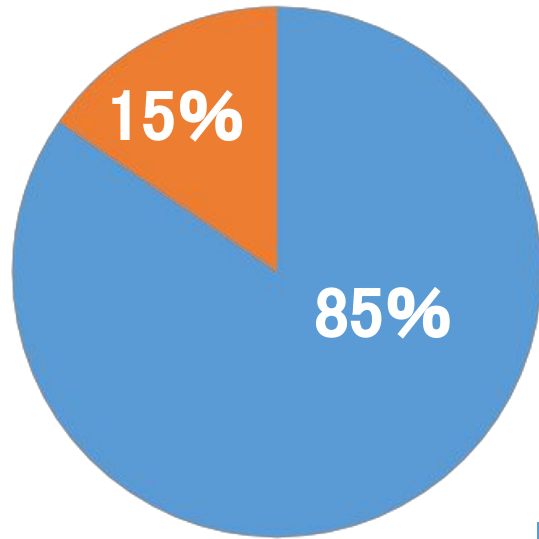


音楽・総合等×プログラミング

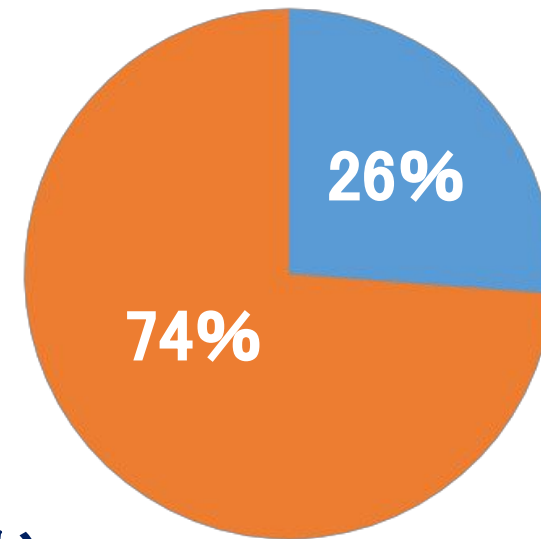
5 アンケート等から見えてきた学校の状況

情報モラル教育の保護者への啓発の機会・方法の検討

懇談会等での保護者向けの **情報モラル** に関する **啓発の実施** について(R7.2月)



授業参観で**情報モラルの授業**を行ったか(R7.2月)



■ 実施 ■ 実施していない

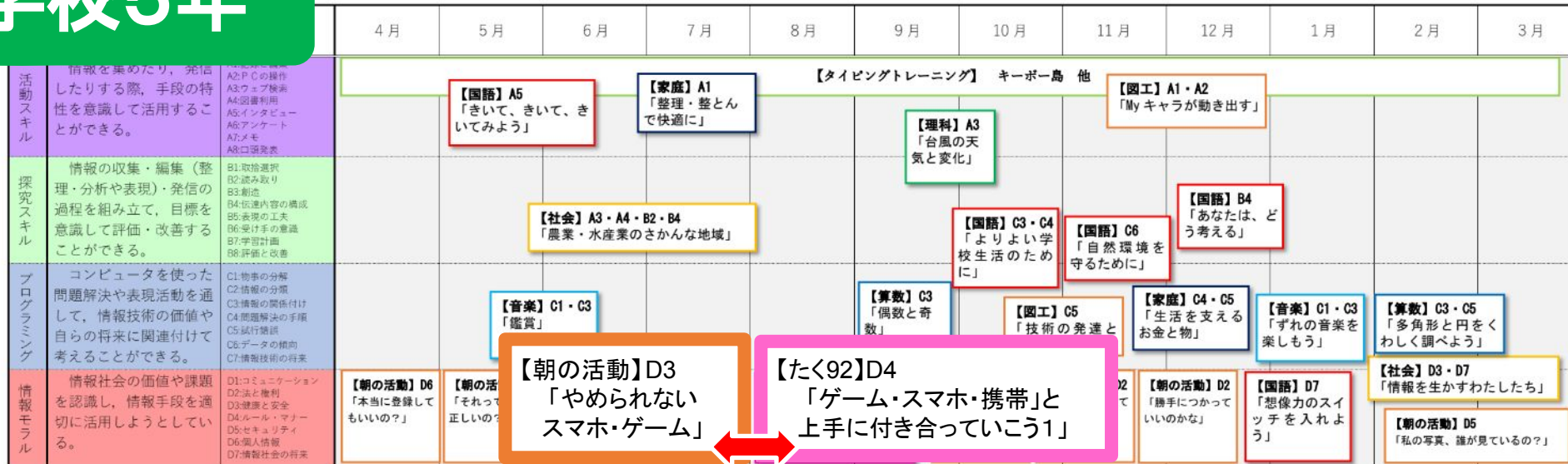
令和6年度情報モラル教育実施状況調査(仙台市独自調査 R7.2月実施)より

取組

6 情報モラル教育への取組の事例【小学校5学年】

重点目標 情報活用の基礎となるICTの基本的な操作を身に付け、活用する。

小学校5年



情報モラル×たく生き → 教科等横断的な視点で育成

6 情報モラル教育への取組の事例【小学校6学年】

小学校6年

	学習目標	学習内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動スキル	情報を集めたり、発信したりする際、手段の特性を意識して活用することができる。	A1:記録と編集 A2:P.C.の操作 A3:ウェブ検索 A4:図書利用 A5:インタビュー A6:アンケート A7:メモ A8:口頭発表	【算数】A1 「対称な図形」	【体育】A2 「陸上運動」	国語 「インターネットでニュースを読もう」			【理科】A1・A7 「月の形と太陽」 【音楽】A8 「ききどころを見つけて」				【国語】A3 「いにしへの言葉に学ぶ」		
探究スキル	情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。	B1:取捨選択 B2:読み取り B3:創造 B4:伝達内容の構成 B5:表現の工夫 B6:受け手の意識 B7:学習計画 B8:評価と改善	【社会】A3・A7 「わたしたちのくらしと政治」 【音楽】A2・A8 「にっぽんのうたみんなのうた」「短調のひびき」「演奏のみりょく」						【国語】B3・B6 「町の未来をえがこう」 【社会】B1・B2 「戦国の世から天下統一へ」 【算数】B4・B5 「およその面積と体積を求めよう」	【音楽】B1・B4 「私たちの国の音楽」 【理科】C4・C5 「電気と私たちのくらし」		【理科】B2・B7 「水溶液の性質と働き」 【算数】C6 「比例の関係をくわしく調べよう」	【理科】B1・B5 「地球に生きる」	
プログラミング	コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値や自らの将来に関連付けて考えることができる。	C1:物事の分解 C2:情報の分類 C3:情報の関係付け C4:問題解決の手順 C5:試行錯誤 C6:データの傾向 C7:情報技術の将来						【算数】C1 「円の面積」			【算数】C6・C7・A6 「データの特ちょうを調べて判断しよう」	【家庭】C5・C7 「持続可能な社会を生きる」		
情報モラル	情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。	D1:コミュニケーション D2:法と権利 D3:健康と安全 D4:ルール・マナー D5:セキュリティ D6:個人情報 D7:情報社会の将来	【朝の活動】D4 「ネットいじめは絶対やめよう」	【朝の活動】 「そんな意味じゃないのに…」	【たく92】D4 「ゲーム・スマホ・携帯」と上手に付き合っていこう1」			【朝の活動】D3 「ばたきを意識しよう」	【国語】D1・D4 「情報を活用するときに気をつけよう」	【朝の活動】D2 「責任を持って情報を発信しよう」	【朝の活動】D5 「気を付けていたはずなのに…」	【朝の活動】D5 「こんな見なかったのに」	【朝の活動】D7 「インターネットの基本を知ろう」	【朝の活動】D6 「登録は慎重に」

情報モラル×国語 → 教科等横断的・学年の系統性

7 情報活用能力の育成に向けた教育課程の編成のための支援

小学校の事例

R3: 組織づくり「GIGA部」

R4: 保護者からの声

➡ 情報モラルに焦点化

R5: 学校・PTA・地域で取り
組む「情報モラル」教育

➡ 授業参観の実施

R6: 3者の連携の高まり



授業参観の機会に学年全体で「情報モラル」について保護者と一緒に考える授業の実施